

緩和ケア普及啓発に関する活動報告書

提出日 令和 7 年 7 月 14 日

緩和ケア普及啓発活動についての報告

実施団体	
第 18 回日本緩和医療薬学会年会	
企画名	
市民公開講座	
事前告知、募集の方法について（ポスター、チラシの配布など）	
①駅への掲示 事前に海浜幕張駅及び幕張豊砂駅にポスターを掲示 ②千葉県全域の薬局へチラシ配布 配布方法：千葉県の広報誌配布時に一緒に梱包（千葉県薬剤師会へ依頼） ③幕張メッセで掲示 ④当日のポスター配布 ※イオン内やイオン近辺での当日配布は規制があり実施不可	
当日の実施内容について	
日時（期間）	2025 年 6 月 22 日（日）10 時～15 時
実施場所	イオンモール幕張新都心 エキマエコート
参加人数	約 100 名
具体的な実施内容： （１）ミニレクチャー：各 15～20 分程度 11:00～ 緩和ケアご存知ですか？ 講師：板井 進悟 先生（金沢大学附属病院） 11:30～ 知ってますか？ACP 講師：横山 郁子 先生（神戸薬科大学） 12:00～ 知っておきたい、在宅医療でできること 講師：渡辺 富美子 先生（日本調剤） 12:30～ 痛みの治療って知ってますか？ 講師：荒目 俊明 先生（くるみ薬局） 13:00～ 痛みの薬について 講師：大塩 由華 先生（東京女子医科大学病院） 13:30～ かかりつけ薬剤師の役割 講師：大高 弘和 先生（イオンリテール株式会社） ※会場には各回 5 名程度の動員。会場の仕組み上、3 階まで吹き抜けであり、2 階、3 階から各 10 名程度聴講者あり。	

(2) おくすり相談会ブース

担当：イオンリテール株式会社 イオン薬局薬剤師

各ブースで薬に関する相談や健康相談などに対して薬剤師が回答。

延べ来訪人数：10 名

(3) もしバナゲームによる対話型イベント

4 人一組でファシリテーターを 1 名つけて実施。

実際に実施できたのは、1 組であったが ACP について考えるきっかけになったと考える。

(4) 白衣・スクラブ撮影ブース

小学生以下を対象に、白衣・スクラブで記念撮影を実施。

おおよそ 20 組程度来訪。

(5) 啓発ポスター掲示

緩和ケアや痛みについてなど啓発するポスターを作成し、掲示。

(i) 日本緩和医療薬学会について

(ii) 緩和ケアってなに？

(iii) ACP とは

(iv) 医療用麻薬ってなに？

効果について(アンケートの結果など)

当日は大きなトラブルもなく、市民との接点を広げる貴重な機会となった。中学生スタッフの積極的な貢献や、ミニレクチャー・相談会への反応から、緩和ケアに対する理解と関心の広がりを感じられた。参加された市民の方々からは緩和ケアに関する比較的広範な質問から、ご家族が stageIV のがん患者であり、抗がん剤治療を受けているが緩和ケアはいつから受けた方がよいのか等具体的な質問も多く受け、冊子などをお渡ししながら、説明を行い緩和、それらの反応から、緩和ケアに対する理解と関心の広がりを感じられた。本会は年会との同時並行で行うことで、市民への啓発活動と共に、学会員の啓発活動への参加を促すきっかけにもなり、双方にとって有意義な結果をもたらしたと考える。

その他報告

追加特記事項はございません。

公式ホームページ（緩和ケア.net）への掲載について

■ 掲載してもよい ・ □掲載しないで欲しい

※掲載を希望される場合、個人情報の取扱いにご注意ください

- ポスター、チラシなどを作成した場合、添付してください
 - 当日の様子(当日配布資料、会場、イベント実施時の写真など)を添付してください
- ※個人が特定できるお写真などの情報の掲載は控えください。



市民公開講座

主催 第1回日本緩和医療薬学会
共催 千葉駅前商業会館
後援 イオンモール麻新南都心、ナガレバーン株式会社

薬剤師と考える！緩和ケア
～自分らしくあるために～

ミニレクチャー
●15～20分発表

11:00～ 緩和ケアご存じですか？
11:30～ 知っていますか？ACP
12:00～ 知っている！在宅医療でできること
12:30～ 痛みが治まって困っていますか？
13:00～ 痛みの薬について
13:30～ カかりつけ薬剤師の役割

おくすりの疑問に答えます
緩和ケア
もしばなゲーム
白衣・スクラフで記念撮影

日時 2025年6月22日(日) 10:00～15:00
会場 イオンモール麻新南都心 1F エキマエコート
伊オンモール来訪の市民

日本緩和医療薬学会 市民公開セミナー
supported by 第1回日本緩和医療薬学会

緩和ケアってなに？

女性の約50%、男性は約65%は一生のうちに何らかのがんになるといわれています
このような身近な病気になった、がん

あなたの大切な方も、がんを患えているかもしれません
がん患者さんは、がん自体の症状のほか、痛み、倦怠感などのさまざまな身体的な症状や、落ち込み、悲しみなどの精神的な苦痛を経験します

「緩和ケア」は、**がんと診断されたときから行い、身体的・精神的な苦痛をやわらげるためのケア**です

おぼえてください、「緩和ケア」
あなたの大切な方のために、あなた自身のために

がんの症状と「緩和ケア」
がんによる心身の苦痛をやわらげ、自分らしい生活を送れるようにするケアがあります
それが「緩和ケア」です。がんになると、どのようなことが起きるのでしょうか？

▼ 痛み、だるさなどのさまざまな症状 … 痛みは、がん患者さんの70%にみられます
▼ 落ち込み、悲しみなどの精神的な苦痛
▼ 「喪失」「死」への恐怖
▼ 自分の「人生」に対する問い

緩和ケアとは、がん患者さんの苦痛を取りのぞき、患者さんご家族にとって、自分らしい生活を送れるようにするためのケアです
緩和ケアは、がんの治療中から、どの段階でも受けられます

「緩和ケア」ではどのような支援を受けられるの？

緩和ケアで得られる医療やケアはさまざまです。以下に主な緩和ケアの内容をご紹介します

1. 痛みの緩和ケア、治療法の選択を受ける
2. 痛みなどの心身の苦痛を軽減し、自分らしい生活を送れるようにする
3. 食事や睡眠の改善を受ける
4. がんの進行や治療法について、医師や看護師と相談を受ける
5. がんの進行や治療法について、医師や看護師と相談を受ける
6. がんの進行や治療法について、医師や看護師と相談を受ける
7. がんの進行や治療法について、医師や看護師と相談を受ける
8. がんの進行や治療法について、医師や看護師と相談を受ける
9. がんの進行や治療法について、医師や看護師と相談を受ける
10. がんの進行や治療法について、医師や看護師と相談を受ける

日本緩和医療薬学会 市民公開セミナー
supported by 第1回日本緩和医療薬学会

日本緩和医療薬学会とは？

病気によるつらさや痛みをやわらげ、心身よく過ごせるよう変える「緩和医療」は、これからの日本でとても大切になっていきます

そこで、地域の薬局や病院で働く薬剤師、薬の研究をしている専門家たちが力を合わせて、よりよいお薬の使い方を一緒に考えていこうとしています

大学では、学生たちへの教育や研究を進め、企業では新しいお薬の開発などが行われています

みんなで協力して、**緩和医療をもっと充実させていくことを目的としている団体**です

主な活動内容

- 緩和医療の薬物療法に関する学術大会、講演会等の開催
- 緩和医療の普及に関するセミナーや講座、研修会等の開催
- 機関誌の発行や刊行物の発行
- 緩和医療領域の専門薬剤師の養成及び認定等
- その他

私たちの姿勢

緩和医療は、必要薬を効果的に用いて、全人的な視点から痛みやその他の苦痛を予防・改善し、患者さんが自らの人生を積極的に生きていけるよう変える医療活動です

私達は、よりよい緩和医療の提供・支援を目指し、薬剤師と薬学研究者が「一丸」になって、多職種と連携し緩和医療の充実・発展に努めます

学芸代表理事 第18回学芸長

成田 孝 東京大学薬学研究所 教授
/国立がん研究センター研究員
/緩和医療薬学研究会 会長

伊藤 信雄 東京大学薬学研究所 准教授
/緩和医療薬学研究会 副会長

アドバンス・ケア・プランニング(ACP)ってなに？

みなさん、ご自分の将来についていよいよとなったら、どのような最期を迎えたいか、お考えのことありますか？

私は痛みのは嫌だな
静かすぎる環境に慣れたらいいかな
いや、私はできるだけ延命治療をしてほしい

など色々お考えがあることと思います

そのようなお悩みをどうにかお話し合いになったことがありませんか？
将来の人生をどのように生活をして、どのような医療や介護を受けて最期を迎えるかを話し合っ、ご自身の考えを心づもりとしてご家族や近い人、医療やケアの担当者とあらかじめ表しておく取組を**アドバンス・ケア・プランニング(ACP)**といいます

愛称として「**人生会議**」と呼びます

環境や体調の変化により、繰り返し話し合いを行うプロセスでもあります
医師・医療従事者、ご家族・身近な人、ご本人が話し合います

もしバナゲーム
人生の最期にどう在りたいか

だれもが大切なことだとわかってはいても、なかなか「縁起でもないから」という理由で、避けてしまいませんか？
このゲームを使えば、そんな難しい話題を考えた時、話し合うことができます
また、ゲームを通して、友人や家族に、あなたの願いを伝え、理解してもらうきっかけ作りにもなります

周りの人々とゲームをしておかげで、**いざというときの判断**がしやすくなるのです

1セットには36枚のカードが入っています

そのうち35枚は、重篤な病状や死に際して「大事なこと」として人々がよく口にする言葉が書かれています
たとえば、「どのようなケアをしてほしいか」「誰にそばにいてほしいか」そして「自分にとって何が大事か」という内容です

体験してみませんか？

日本緩和医療薬学会 市民公開セミナー
supported by 第1回日本緩和医療薬学会

医療用麻薬ってなに？
～正しく知って、不安をなくそう～

医療用麻薬は、「最後の薬」ではなく
「痛みなどの辛い症状をやわらげるための選択のひとつ」です
あなたや家族の「生活の質(QOL)」を守る大切な道具
正しい理解が必要です

誤解です！ 正しく知ろう！

麻薬ってやばい
になるんでは？
正しくは…
医療用麻薬は、
医療者の管理下で
適切に使えば
中絶になることは
ほとんどありません

麻薬は最後の手段で、
東用がなければ使えない
正しくは…
がん以外の慢性的な痛みや
術後の痛みなど、
様々な痛みに使われます
がん治療中にも使います。治療などで
痛みが和らげば、「減らす」「やめる」ことも
しばしばあります
不必要に長く使い続けることはありません

副作用が多い？
これ！
副作用はありますが、
コントロール
可能です
不安なことがあれば、
薬剤師に相談を

薬剤師は、あなたのすぐそばの健康サポーター
～おくすりのこと、くらしのこと、まずは薬局へ～

- 薬剤師は、ただ単に薬を「渡す人」じゃないんです
薬の専門家として、副作用や飲み合わせをチェックしています
- 自宅でもサポートします
薬剤師が自宅に訪問し、薬の管理や副作用のチェックを行います
- 気軽に相談できる医療の窓口
病気だけでなく、ちょっとした不安や疑問もOK!
痛み、倦怠感、眠れない、便秘が、そんなときも、薬剤師は体と薬の「口」として寄り添います

本セミナー会場にて、「お薬相談室」を開催します
お薬のこと、健康のこと、なんでもOKです！気軽に立ち寄りください
かかりつけ薬剤師がいれば、もっと安心！お薬の相談から、健康・介護まで
あなたのまちの薬局は、小さな「地域の医療センター」です

日本緩和医療薬学会 市民公開セミナー
supported by 第1回日本緩和医療薬学会